

福岡市「グローバル創業・雇用創出特区」
の“今”を伝える——

創刊号

FUKUOKA 特区通信

Vol.

01

創刊号記念特集

高島市長が語る

国家戦略特区「グローバル創業・雇用創出特区」が目指すもの 1-2

特集1

国家戦略特区に関する質問に特区部長が

わかりやすくお答えします！ 3-4

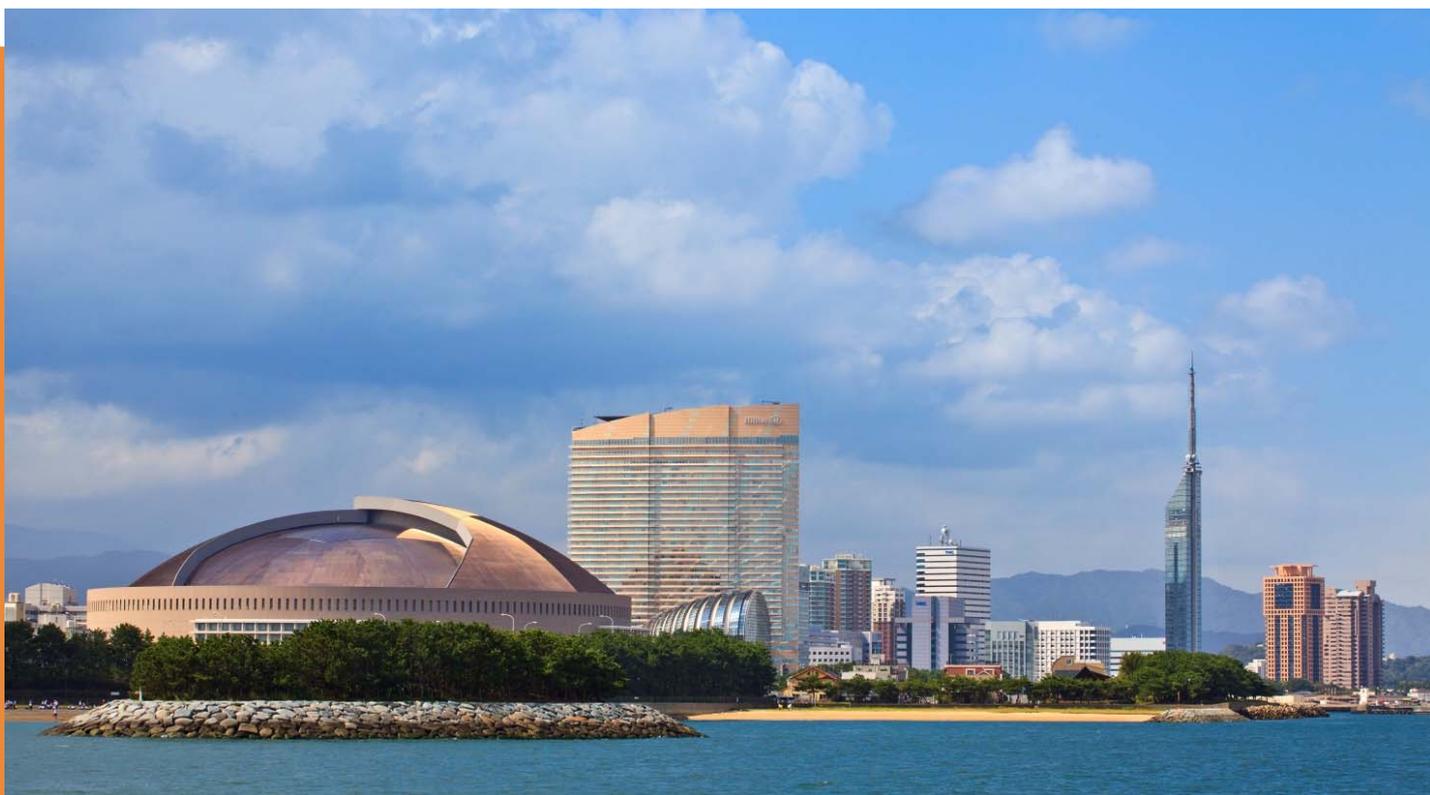
特集2

創業者インタビュー「MICEでの出会いから生まれた新商品」

(株)西日本冷食 日野社長 5-6

最新トピックス

「スタートアップカフェ」がOPENしました！



創刊号記念特集 高島市長が語る

国家戦略特区「グローバル創業・雇用創出特区」が目指すもの

平成26年3月28日、“アベノミクスの第3の矢”である成長戦略の要、「国家戦略特区」に福岡市が選ばれました。

今後、福岡市は、この国家戦略特区「グローバル創業・雇用創出特区」を活用してどのような都市を目指すのか。

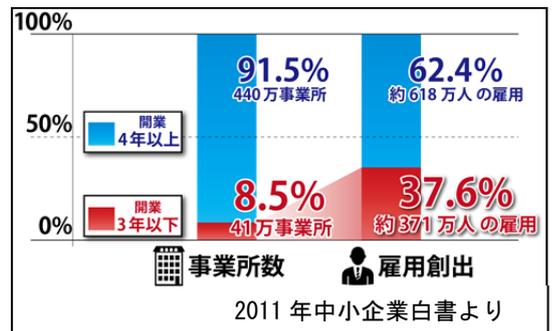
高島宗一郎 福岡市長に、思いを語ってもらいました。



「創業」こそが福岡を変える！

なぜ、「創業」が重要なのか。それは、若い企業こそが新しい雇用を創り出しているからです。

開業3年以下の若い企業は事業所数では8.5%しかないのに、全体の約4割に相当する371万人もの雇用を生み出しています。



創業により新たな価値が生まれる

新たな就職
の機会



市民にとっては…

新しい商品や
サービス

新たな
取引先



今ある企業にとっては…

新しい
ビジネス
モデル

創業による雇用の創出により、これまでは就職のために東京や大阪へ行っていた学生にとっても、地元福岡で就職するチャンスが増えることとなります。

その他にも創業により、様々な新たな価値が生み出され、福岡がより良いまちへ変わります。

「創業」で生活が豊かに！ビジネスが効率的に！

皆さんはタクシーに乗りたい時、どうしますか？普通は電話で呼んだり、手を挙げて停めたりすると思います。

なんと、最近開発されたアプリでは、スマートフォンでタクシーを呼び、オンライン決済までできるのです。これは、タクシーと、創業によって生まれたIT技術が組み合わせられた、新しいサービスです。

このサービスは、大きな設備投資が必要ないので、個人タクシーの運転手さんでも、負担がなくお客さんを増やすことができます。

このように、創業により生まれた新しい技術によって、既存企業のビジネスが効率化され、私たちの生活を豊かにするサービスが生まれるのです。



今ある企業も「第二創業」でさらに躍進！

「創業」とは「起業」に限らず、新しい商品・サービスや仕事のやり方など、新しい価値を生み出すことです。既存企業が新しい事業にチャレンジすることも創業（第二創業）です。

例えば、フィルムを作る会社がその技術を活用して化粧品や医薬品を作るようになったり、衣料の繊維を作っていた会社が飛行機の素材を作ったりしています。

何十年も活躍している企業の多くは、時代の変化に合わせて商品を改良し、技術を生かして全く別の新商品を開発することで発展を遂げているのです。



だから創業を後押し！

福岡市は、2000年のインキュベーション施設開設から本格的な創業支援を開始し、地場の経営者が創業者を支援する創業者応援団事業など、様々な創業支援に取り組んできました。

今回、特区に指定されたことにより、市だけでは取り組むことができなかった規制・税制改革について、他都市の先陣を切って取り組むことができるようになりました。

もちろん、市独自の創業支援施策にも引き続き積極的に取り組んでいきます。『特区プロジェクト』として、新たに融資制度や奨学金などを創設。起業家が学校を訪問して、チャレンジの大切さや起業の魅力を伝える取り組みも行っています。さらに10月11日には、「スタートアップカフェ」がオープンしました。【最新トピックス（裏表紙）で紹介】

新しい価値を生み続ける都市・福岡になるため、特区の規制・税制改革に加え、市の施策、国の施策を「政策パッケージ」にして、創業を強力に後押しする環境を創っていきます。



起業家が市内の中学校を訪問

福岡市は皆さんと一緒にチャレンジし続けます！

これまでにない新しい価値や製品、サービスが生まれ、グローバルなマーケットにチャレンジしていく、そんな夢を描ける場所が今、日本のどこかに必要です。私は福岡市こそがその場所だと思っていますし、そうなることが特区として選ばれた福岡市の果たすべき大きな役割だと考えています。

福岡市は、この責任の重さをしっかりと受け止め、「福岡市の成功モデルを全国に広げ、日本の成長へつなげる」という決意をもって、「グローバル創業・雇用創出特区」を推進していきます。



特集1 国家戦略特区に関する質問に 特区部長がわかりやすくお答えします！



はじめまして、国家戦略特区担当部長（通称：特区部長）の袴着賢治です。

国家戦略特区に関する、市民の皆さまの質問にわかりやすくお答えします！

Q1. 国家戦略特区って何？

国家戦略特区とは、経済活性化のために、地域限定で規制や税制を改革し、その効果を調べるために指定される特別区域のことです。この国家戦略特区には、福岡市を含め6地域が指定されています。

これまでの「特区」は、地方が提案し、国が認定するボトムアップ方式でした。

しかし、今回の国家戦略特区は、国が主導して特区のテーマや地域を決定するので、より大胆な規制や税制の改革が期待できます。



Q2. 特区ではどんな事業が行われるの？

特区で行う事業には、国が示している「初期メニュー」と、自治体や民間事業者が追加で提案する「追加提案」の2種類があります。

追加提案された規制・税制改革については、国で実効性等を検討した上で、特区で取り組むことができるようになります。

福岡市の特区では

【初期メニュー】

- ・ エリアマネジメントに係る道路法の特例
- ・ 雇用労働相談センターの設置

など

【追加提案】

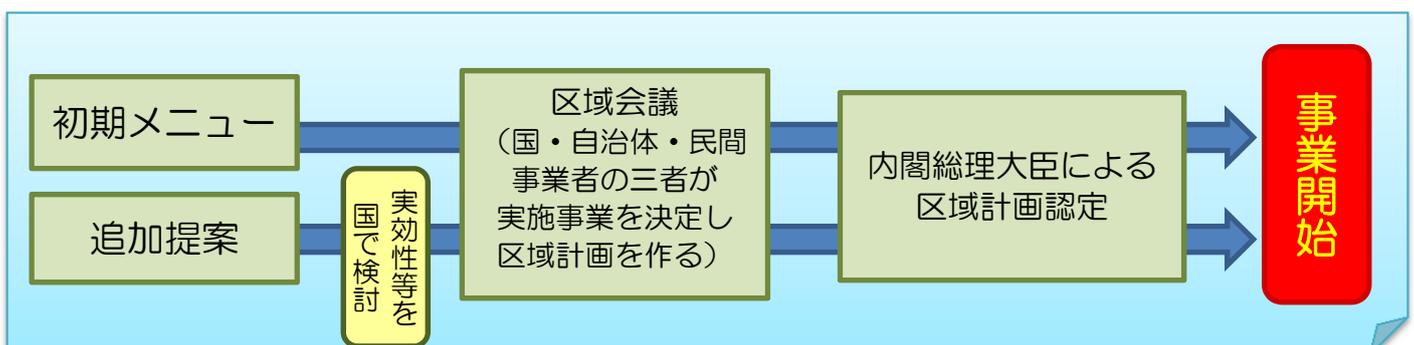
- ・ 航空法に基づく高さ制限の緩和
- ・ 法人設立手続きの簡素化・迅速化

など

Q3. 特区事業開始までの流れはどうなっているの？

初期メニューや追加提案を活用して、どのような事業を実施するかについては「区域会議」という会議で決定されます。この会議は国・自治体・民間事業者の三者が参加して行います。

区域会議では、どのように事業を実施していくのかを記載した「区域計画」を作り、内閣総理大臣へ認定の申請を行います。そして内閣総理大臣により区域計画が認定されると、事業が開始できることとなります。



Q4. MICE（マイルス）がなぜ大事なの？

Meeting（会議・研修）
Incentive（招待旅行）
Convention（学会・国際会議）
Exhibition（展示会）

福岡市の特区は「創業」と「MICE」が二つの大きな柱です。

MICEとは、多くの方が集まるビジネスイベントを意味する、左の4つの英語の頭文字から作った造語です。

MICEを開催すると海外の優秀な人材や企業が集まります。そういった人材や企業が福岡の地場企業などと出会うことで、新たなビジネスやイノベーション（革新）が生まれる可能性があります。

もちろん、MICEを開催して多くの方が集まることによる、直接的な経済効果も期待できます。

このように、MICEは創業やビジネスに大きく貢献します。



MICEの後に行われた交流の例：
川端商店街で行われた学会の歓迎会
(2012年10月1日)

Q5. 国家戦略特区でやりたいことやアイデアがある時はどうしたらいい？

福岡市の特区は、「創業」や「雇用創出」を目標としていますが、創業・雇用創出については、民間企業や市民の皆さまもたくさんのアイデアをお持ちだと思います。

「創業・雇用創出」につながるアイデアやご意見、実施したい事業が具体的にある場合には、福岡市のホームページよりご提案をお願いします。

ご提案いただいたアイデアは、国家戦略特区で提案する規制改革や関連施策を検討する際の参考にさせていただきます。



【アイデア募集ページのご案内】

福岡市のホームページより

こちらをクリックしてください。
(国家戦略特区のHPへつながります)



次のページ福岡タワーの画像下方に「アイデア募集」がございます。

※左のホームページ画面は平成26年10月時点のものであり、今後レイアウト等が変更される可能性があります。

特集2 創業者インタビュー

「MICEでの出会いから生まれた新商品」

(株)西日本冷食 日野社長



株式会社西日本冷食 日野美貴 社長

今回は、(株)西日本冷食 代表取締役社長 日野美貴さんにお話を伺いました。

西日本冷食は、全国シェアトップの主力商品のボイルしゃこをはじめ、食品添加物を使わない安心・安全な食品の提供により、起業5年にして年商9億円の「水産ベンチャー」企業です。



しゃこ

●創業のきっかけを教えてください

きっかけは、魚市場で働いていた時に会った、水産加工会社に勤める中国人女性でした。彼女はボイルしゃこの取引先を探していたので、私も一緒に探しましたが、断られ続け、「だったら自分でやろう」と、創業を決意しました。

また、食品を扱う仕事を続ける中で「体に良いものを多くの消費者へ提供したい」という強い思いもありました。

●社長をはじめ、社内に活躍する女性の姿を多く見受けましたが？

創業当初は女性の方が多く、7：3くらいでしたが、最近は5：5くらいになりました。女性は金銭感覚に長けた方が多いので、創業に向いていると私は思います。

●MICEなど、人や企業との交流から生まれたアイデアはありますか？

以前展示会に参加した際に、缶詰を取り扱う老舗企業の方から「しゃこは寿司か刺身以外に食べ方はありますか？」と尋ねられました。そこで、スペインに行ったことのある当社のスタッフが「スペインではアヒージョ(オリーブオイルとニンニクで煮込んだもの)で食べますよ」とお答えしました。これをきっかけに生まれたのが、新商品『しゃこのアヒージョ缶詰』です。

今後は、海産物のコラーゲンを活用した化粧品などを他企業と共同開発していきたいと考えています。

●最近ウナギの養殖にも挑戦されているそうですが？

最初は輸入したしゃこをお寿司屋さんにご卸しだけでしたが、しゃこの殻を活用できないか、インキュベーション施設【次ページで詳しく紹介】で試験・研究しているうちに、殻を餌にしたウナギの養殖にたどり着きました。

これからも、おいしい食品を提供するために、研究開発に力を入れ、新しいことにどんどん挑戦していきます。



日野社長 ありがとうございました！

起業家の卵を育む——

インキュベーション施設

「インキュベーション」のもとになっている「インキュベート」という言葉は、もともと「卵をかえす」という意味。ここから、創業して間もない企業や起業家などへの支援・育成を表すようになりました。

インキュベーション施設とは、創業者の育成及び支援を目的とした施設です。創業者にとっては、事業を行う場所の確保が非常に重要ですが、ここでは低廉な家賃でオフィスを借りることができます。また、他の入居者（創業者）との情報交換や、専門家から経営支援を受けることもできます。

ここは、福岡市東区アイランドシティにあるインキュベーション施設、「福岡ビジネス創造センター」です。

(株)西日本冷食も、このセンターで成長し、卒業した現在も同施設と同じビル内に事務所を構えています。



福岡ビジネス創造センター
(シーマークビル) 外観



オフィスの様子

センター内のオフィスの広さは29～84㎡で、家賃は天神・博多駅地区の一般的なオフィスに比べると、1/2程度と非常に安くなっています。

入居には、一定の条件や審査があります。詳しくは、センターのHP又は下記お問い合わせ先にてご確認ください。

センター内にはオフィス以外にも様々な施設があり、以下の施設は入居企業以外の方でもご利用いただけます。



撮影スタジオ



ホールで開催されたセミナー

■ホール

講演会、セミナー、展示会に利用可能。最大100名収容。

■撮影スタジオ

撮影、ナレーション収録、映像の編集・加工ができます。

■工作室

製品・商品の試作ができます。

【問い合わせ先】

福岡ビジネス創造センター
〒813-0017 福岡市東区香椎照葉 3-2-1
TEL : 092-672-7001
FAX : 092-672-7041
MAIL : info@fbcc.jp
HP : <http://www.fbcc.jp/>

「経営者のやる気が周りを巻き込んで、事業の成功に近づいていく」

経営者の意欲が周りの応援団を増やしていきます。支援施策や産学連携を活用して事業の進展をお手伝いします。



コーディネーター
出田 光太郎 氏

最新トピックス

「スタートアップカフェ」が OPEN しました！

スタートアップの裾野を拡げるため、「スタートアップしたい人」や「スタートアップを応援したい人」などが気軽に集まり交流できる「スタートアップカフェ」が、書籍・文具・雑貨販売、音楽・映画レンタルなどを取り扱う民間商業施設「TSUTAYA BOOK STORE TENJIN」3階に、10月11日（土）にオープンしました。

また、11月には「スタートアップカフェ」に併設して、創業者などからの雇用ルールに関する相談に応じる「雇用労働相談センター」が開設予定です。

これにより、福岡市の都心部に、創業に必要な機能を詰め込んだスタートアップ・コミュニティの交流拠点が誕生することになります。



■ 場所

TSUTAYA BOOK STORE TENJIN
3階（福岡市中央区今泉 1-20-17）

■ 開設日・時間

毎日午前 10 時～午後 10 時
（年末年始を除く）

※相談などを受けるコンシェルジュ
が常駐

【お問い合わせ先】

・ 国家戦略特区全般について

福岡市総務企画局企画調整部

TEL：092-711-4866 FAX：092-733-5582

・ 創業者支援事業について

福岡市経済観光文化局創業・大学連携課

TEL：092-711-4455 FAX：092-711-4354

